決算特別委員会を開催

令和５年度の事務事業を慎重に審査

議会は、令和５年度一般会計ほか６特別・３企業会計の決算等を審査するため、10月２日・３日・８日・９日・15日の５日間にわたって決算特別委員会を開催しました。

コロナ禍を経て、景気が緩やかな回復傾向にあるとされる一方で、法人市民税収入が減少するなど依然として先行き不透明な状況の中、金利上昇の影響や物価高騰等による経費の増加、社会保障関連経費の増大等に加えて、大規模な投資的事業に係る大きな財政負担が目に見えており、今後も、非常に厳しい財政状況が見込まれます。同委員会では、本市が限られた財源の中で重要なものを見極め、将来にわたって安定した財政運営を行っていくことが不可欠であることから、各事務事業に対して熱心に質疑が行われました。

各会計別決算額

（単位：千円）

区分		歳入	歳出	翌年度繰越財源	※1 実質収支	前年度実質収支	※2 単年度収支
一般会計		170,923,624	168,062,270	549,749	2,311,605	2,454,773	▲143,168
特別会計	国民健康保険	39,985,110	39,953,714	0	31,396	420,613	▲389,217
	自動車駐車場	97,153	111,137	0	▲13,984	▲64,019	50,035
	財産区	64,707	64,707	0	0	0	0
	介護保険	36,857,799	35,958,831	0	898,968	976,153	▲77,185
	後期高齢者医療	7,842,585	7,451,160	0	391,425	79,523	311,902
	母子父子寡婦福祉資金貸付金	80,098	39,279	0	40,819	36,177	4,642

区分		収益的収入	収益的支出	※3 純利益	前年度純利益
企業会計	水道事業	6,587,734	5,089,246	1,498,488	1,112,725
	病院事業	10,901,194	11,145,161	▲243,967	1,229,534
	下水道事業	12,157,077	10,652,535	1,504,542	1,564,348

※1　実質収支は、歳入から歳出と翌年度繰越財源を引いたものです。
※2　単年度収支は、実質収支から前年度実質収支を引いたものです。
※3　純利益は、収益的収入から収益的支出を引いたものです。

子育て施策

事業開始時には話題性 最大限に広げるPRを

大阪維新の会 枚方市議会議員団 **門川紘幸**

議員　２年４月から、年齢・所得制限を撤廃した本市独自の第２子以降の保育料無償化をしているが、市の負担額を聞く。

課長　０～２歳児の第２子保育料で見ると年間約３億1600万円となる。

要望等　５年度から府内数市が同様に保育料の無償化をスタートした。他市に先駆けて実施してきた間は、本市の子育て施策をPRする大きなポイントだったと考えるが、話題にならなかった。今後こうした事業を開始する際は、話題性を最大限に広げるPRを要望する。

保育所園庭で遊ぶ子どもたち

老人クラブ活動補助金 複雑な手続への支援を

議員　老人クラブの活動補助金の複雑な申請手続に対応できず、解散する団体があるという。高齢者の活動支援補助金の意味が薄れるのではないか。

課長　他市での不適切受給事例に伴う国からの指導もあり、全単位老人クラブの収支報告書の内容確認等を行っている。負担軽減が図れるよう補助金対象項目の運用基準の見直し等を検討していく。

要望等　団体数が維持されるよう支援を要望する。

資源ごみ持ち去り防止策 検証と効果的な取組を

議員　資源ごみの持ち去り防止のため、委託による巡回パトロールを行っているというが、その他の防止対策の手法を聞く。

課長　市職員による毎日の巡回パトロールや警察署との合同パトロール、外国人の持ち去り行為者に対する通訳者同行での啓発にも取り組んでいる。

要望等　現在も持ち去り行為が行われており、厳しい罰則が必要と考える。防止対策が形骸化したものとならないよう検証と効果的な取組を要望する。

待機児童解消

臨時保育室ではなく 保育所の早期設置を

日本共産党議員団 **松岡ちひろ**

議員　臨時保育室は、待機児童専用施設にもかかわらず、本市独自の第２子以降保育料無償化の対象とならない。子どもの育ちを思えば、０歳から就学前まで利用できる保育所を早期に設置して待機児童を解消すべきと考えるが、見解を聞く。

部長　待機児童の発生状況や今後の保育需要等を勘案しながら、臨時保育室や小規模保育施設を設置してきた。今後も、保育ニーズに応えられるよう、様々な手法により取り組む。

臨時保育室での保育の様子
（写真は蹉跎西臨時保育室）

グッドネーミング パートナー選定時 市民等の参画を

議員　市施設へのネーミングライツ（＊1）導入で、まちのイメージが損なわれたとの市民意見もある。事業者選定の職員構成メンバーと審査項目を聞く。

課長　財産所管部署等で構成する市有財産等有効活用検討委員会において、ネーミングライツ料、社会貢献、愛称などの５項目を審査している。

要望等　公平、公正さを担保するためにも、市職員だけで選定するのではなく、市民など第三者の参画を得るよう要望する。

金い道料払水未 生活困窮者への対応や福祉部局との連携は

議員　５年度は約1000件もの給水停止が執行されたという。国の通知において、生活困窮者の水道料金未払いによる機械的な給水停止の回避や自立相談支援事業等の利用勧奨を行うよう示されているが、対応を聞く。

課長　納入期限の延長や一部納付といった柔軟な対応を行うとともに、訪問の際には、福祉相談窓口の案内チラシを配付している。今後も福祉部局と情報を共有するなど、さらなる連携を検討する。

要望等　関係者が相互に連携し、計画的に市独自予算を確保して着実に取組を進めるよう要望する。

財政状況を見据え 自主財源確保の取組を

議員　基金繰入金が４年度より大きく増加しているが、その中でも多くを占める財政調整基金からの繰入金の内容を聞く。

課長　枚方市駅周辺再整備推進基金等への積立原資15億円、物価高騰対策での水道料金の基本料金等減免の原資４億円など、総合計22億9500万円の繰入れを行った。

要望等　財政状況を見据え施策実施の是非を判断し、受益者負担の適正化や市有財産の有効活用等、自主財源確保の取組を進めるよう要望する。

放課後自習教室事業 着実な事業の継続を

議員　放課後自習教室事業の内容を聞く。

課長　課業時間外において学習ができる環境を提供するもので、市立中学校在籍の中学生が参加できる。参加生徒は、５科目のうち２科目を選択し、週１回１コマ50分の授業を２コマ受講できる。

要望等　家庭環境等に左右されることなく学習意欲のある子どもに学習環境を提供することは大変重要である。着実な事業の継続を要望する。

自治会館の耐震改修助成

限度額の増額を

公明党議員団 **大地正広**

議員　耐震改修助成を受けた３自治会館が改修助成を併用した理由を聞く。

課長　耐震改修助成の限度額100万円を超える場合、改修助成の要件を満たせば、300万円を限度額として併用できることから活用された。

要望等　耐震改修助成の限度額が低すぎるのではないか。大地震に備えるためにも補助額の増額に加え、簡易改修などの耐震改修も補助の対象とするようなニーズに合わせた工夫の検討を要望する。

耐震改修された自治会館
（写真は藤阪平和苑集会所）

避難行動要支援者 名簿を活用し 地域の訓練実施を

議員　これまで委託で作成、配付していた災害時要支援者名簿を、本市作成の１万５千人超が登録された避難行動要支援者名簿に統合したというが、統合前の災害時要支援者名簿の登録者数を聞く。

課長　５年度の登録者数は、871人であった。

要望等　統合されたとはいえ、地域との連携が図られずに作成された名簿では、うまく活用されないことが予想される。地域での安否確認訓練と名簿をリンクさせる取組を要望する。

市内商業の活性化に向け 活用しやすい補助制度を

議員　商店街等活性化促進事業補助金の５年度決算額がコロナ禍の４年度より減少した原因を聞く。

課長　補助対象となる街路灯の電気料金が国の施策で低くなったこと、空き店舗等を活用した事業を支援するまちづくり提案型事業の申請がなかったことなどが理由である。

要望等　商店街にとって活用しやすいかが重要である。実態やニーズを把握し、市内商業の活性化に向け、活用される補助制度とするよう要望する。

隔遠 訳手 通話

利用時間の延長等 利便性の向上を

公明党議員団 **田中優子**

議員　土日、祝日を含め年中無休で利用できる遠隔手話通訳は、聴覚障害者の生活支援や社会参加の促進に有効な取組だが、５年度の実績を聞く。

課長　80人の登録があり、利用数は623件である。

要望等　利用実績をしっかりと検証するとともに、広域的に取り組むことで利用時間の延長を検討するなど、利便性を高め、必要な人にサービスが行き届くよう取組を進めることを要望する。

遠隔手話通訳サービス利用の様子

補整具購入費助成 がん以外の病気も対象に

議員　抗がん剤等の影響による脱毛や乳房の手術などにより外見が変化したことで、社会参加への不安や精神的なストレスを持つがん患者が、ウイッグ等の補整具を購入した際に費用助成しているが、当該事業を開始した４年度に比べ申請件数は増加しているのか。

課長　５年度は193件で、19件増加している。

要望等　がん以外の病気の治療及び先天的に外見に変化がある人も、助成対象にするよう要望する。

総合型放課後事業 運営や施設の環境整備を

議員　総合型放課後事業（＊2）は、子どもたちの生きる力を育むとともに、福祉的課題等を抱える子どもや家庭への支援の一つとして充実が期待されるが、施設環境が課題である。５年度の留守家庭児童会室の修繕内容を聞く。

課長　静養室のエアコン設置やトイレの洋便器設置、床タイル張り替えなど、早急に改善する必要があるものに取り組んだ。

要望等　事業趣旨と利用人数に見合った予算を確保し、運営や施設の環境整備を最優先に取組を進めるよう要望する。

バス待ち環境の改善 予算確保し着実に推進を

大阪維新の会 枚方市議会議員団 **妹尾正信**

議員　バス待ち環境の改善へ、府の補助金を活用しバス停等の上屋やベンチを設置してきたが、６年度からは府補助の対象外となる。路線バス減便が進む中、利用促進の観点からも継続して取り組むべきだが、見解を聞く。

課長　バス沿線の住民や周辺事業者等の協力も得ながら、上屋やベンチの設置、維持管理を行う仕組みを検討していく。

バス待ち環境が改善されたバス停
（写真は新香里停留所）

初回産科受診料補助

不安のない出産へ 事業の周知を

大阪維新の会 枚方市議会議員団 **佐田あゆ美**

議員　新規事業である低所得の妊婦に対する初回産科受診料補助の５年度実績と周知方法を聞く。

課長　補助実績は11件で、市ホームページやSNSでの発信、また市内の産科医療機関や妊娠検査薬販売店舗でのポスター掲示等で周知している。

要望等　申請時には保健師が面談を行うため、本事業を機に妊娠、出産に向けた支援にもつながる。全ての妊婦が経済的、精神的な不安のない出産を迎えられるよう引き続きの周知を要望する。

初回産科受診料支援事業の
周知ポスター

空き家の解消等に向け 柔軟な対応を

議員　若者世代空き家活用補助制度の５年度実績は19件で、４年度より９件減少した。原因を聞く。

課長　空き家を解体し新築した場合の工事期間が長く、単年度での完了実績数が上がらない。また、木材価格高騰等で若者世代が住宅購入に至らない傾向も強いかと考える。

要望等　空き家解消、耐震化促進及び子育て世帯の定住促進の目的を持つ本制度の利用促進へ、今後も、市民ニーズ等に合う柔軟な対応を要望する。

安心できる暮らしへ 在宅サービスの充実を

議員　介護サービス等給付費が４年度に比べ約４・４％増加し、うち居宅介護サービス給付費負担金は約６・３％増加したというが、要因を聞く。

課長　要介護認定者数、居宅介護サービス受給者の割合及び受給者１人当たりの給付額が増加したことなどが考えられる。

要望等　増加が見込まれる在宅サービスは、今後も重要である。住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるようサービスの充実を要望する。

競艇収入

本市の活用内容 しっかりPRを

自由民主党議員団 **前田富枝**

議員　競艇収入は５年度決算で約５億７千万円と、本市の大きな収入である。市として、その活用内容をより様々にPRすべきだが、市長の見解を聞く。

市長　非常に大きな額でもあり、他市事例も参考にPRを検討していきたい。

要望等　PRしている市がそうない中、「枚方市が一番PRをしている」と見せるのが重要である。競艇収入が当然のように得られているとの認識ではいけないと意見する。

競艇の様子
（写真はボートレース住之江）

市長公約施策の推進は 財政健全性があってこそ

議員　５年度決算における経常収支比率（＊3）は97・6％と、４年度から悪化した。この状況をどう認識し、対応するのか。

課長　好ましくない状態と認識しており、将来に向け安定した財政運営へ改善が必要と考えている。

要望等　本市財政はぎりぎりの状態と考える。先々の財政健全性を維持しながら公約施策を進める考えがあるのか疑問である。本市の事業の予算確保が最重要である。多くの市民が何を望むのか、いま一度市長に考えてもらいたい。

いじめや暴力行為 未然防止に向け 寄り添いが大切

議員　５年度は４年度に比べいじめ認知件数、暴力行為が増加したというが、両者の関連、対応を聞く。

課長　児童・生徒間の暴力行為は全ていじめに該当するとして、いじめ見逃しゼロの方針で対応している。スクールカウンセラー等の助言を含め、組織的な体制で、担任等の事案の抱え込み防止や児童、生徒等の個に応じた適切な支援を行っている。

要望等　様々な課題を抱える子ども等への寄り添い、フォローを要望する。

決算特別委員会委員

【委員長】藤田幸久
【副委員長】八尾善之
【委員】前田富枝　松本佑介　広瀬ひとみ　松岡ちひろ　奥野美佳　鍜治谷知宏　門川紘幸　妹尾正信　佐田あゆ美　高野寿陛　大地正広　田中優子　千葉雅民
（会派届出順）

常任委員会（傍聴OK）
本会議で出た提案をもっと詳しく話し合うために、４つの部門に分けた常任委員会があるよ
建設環境常任委員会　市民福祉常任委員会　教育子育て常任委員会　総務常任委員会
議員は、みんなどれか1つの委員会に入るよ！

委員協議会（傍聴OK）
それぞれの常任委員会のメンバーで、市の取組について話し合うよ

各派代表者会議
各会派の間での連絡や話し合いのために、会派の代表が集まるよ

議会広報委員会
議会報や議会のPRについて話し合うよ

議会運営委員会（傍聴OK）
本会議の進め方について話し合うよ

特別委員会（傍聴OK）
特定の問題について話し合うために、必要に応じてつくられる委員会。
例えば、
＊予算特別委員会
＊決算特別委員会　があるよ！

※ 質問の内容について、各議員が３項目を選定の上、要約して掲載しています（そのため、実際の発言口調とは異なる場合があります）。